オイおじ!!

オイがたわわに実ったせいで

は～
疲れた…

ガチャ

ただいま～

ミタン

ズカズカ

あ
コウちゃん
お帰り～

おう
ただい…

!!

ば…おま
スッポンポンで
歩くの禁止
っつったろ!!

ん？
ああ

筋トレ終わって
シャワー浴びるトコ
だったんだもん
しゃあねぇじゃん

だから
脱衣所で脱げって
何回も言ってる
だろが～！

え～ だって
汗でベタベタに
なった服とか
すぐ脱ぎたいんだもん
しょうがないじゃん！

キャー

キャー

あ～
もういいから
さっさと
シャワー
浴びちまえよ

は～い♪

ニコッ

は〜
余計疲れる…

ドサッ

一人暮らしの頃が
懐かしいぜ…

兄貴の無茶振りから
甥のタツキを預かって
から早半年…

お前のマンション
部屋ふたつある
じゃんか？

タツキの大学
近いから
居候させろや

え
ええ
!!

二年ばかしは
アパートで
一人暮らしさせてた
けどそれも
金かかって
馬鹿らしいしよ

それに
特待生で入ったくせに
やっぱどうしても男のガキ
だから食事の管理やら
なにやら心配な事も
多いし

あと誰に似たのか
結構夜遊びも
好きみたいでなぁ

その点
しっかり者の
お前と一緒なら
安心できるしよ

で…でも俺も
仕事で遅くなるし
お目付け役には
なれそうにないよ？

大丈夫だよ
なんたってアイツは
昔から俺なんぞより
お前に懐いてるんだから
そりゃもうどっちが親だか
わからんほどになハッハッハ
（乾いた笑い）

うっ…

まあ家賃も
少々入れるし
そゆことで
よろしく～

確かにタツキとは
小さい頃からすげー
馬が合って

フハハ
また俺の勝ち！

フンッ

べしべし

すっごいすっごいよ!!!

親の兄貴が嫉妬するほど
仲が良かったから

そんなアイツの役に
立てるんならって
引き受けたけどさ…

ど

けど…

けどさ…

コ〜

ちゃ〜ん

オッ

スー…

ケケン ケケン

起きて〜♪

ごブハ!!

おはよ〜！
メシメシ
め〜し〜!!

ゴロゴロ

大学生になっても
小学生の頃と何も
変わらないコイツとの
同居は正直疲れる…

ゆた
ゆた

子供は嫌いじゃないけど
「体は大人 頭脳は子供」は
キライなのだ

お前は
サルか

ウキャ♪

そもそも俺は
本来地味でひとりが
好きな男なのだ

家系なのか体だけは
ガッチリしてるのだが
性格は至って消極的で
趣味は漫画やゲームと
インドアな物がメイン

そんな事もあり
四十路超えのこの
年まで彼女も出来ず
いまだ独身を貫く

ジュー

寂しく無いと
言えば嘘になるが
気楽に悠々自適に
過ごして来たのだ

あいよ

わ～い
いただき
ま～す♪

半年で悟った…
たまになら良いけど
コイツと毎日一緒に
いるのはキツイ…

あむっ

そろそろ
ギブアップ
しようかなぁ…

あ そうだ
コウちゃん

ん？

今日さ～
友達家に入れて
良いかな～？

ん？ ああ
別に問題無い
けど？

そっか
サンキュ～♪

そういや
珍しいな
あれ？
ウチに来て
初めて…？

俺は仕事で遅くなる
と思うけど
あんま騒ぐなよ
ご近所迷惑に
なるからな～

は～い!!

なんで…
遠回しに
うるさいって
アピッてみたり…

でも何かあった時に
実際文句言われんのは
俺だし…
ちゃんと言っておかないと…

…ってただの
八つ当たりか…
はぁ…やっぱり俺って
ちっちぇ～なぁ…

ってダメだ
また細かい事
考えちまう
悪い癖が出てる

アイツは俺の事
嫌いじゃないからこそ
変わらないでいて
くれるんだろうし

悪気が無い事は
小さい頃から
見てるから
良くわかってる…

親子ほども
年の離れてる
甥っ子なんだから

やっぱり俺が変わって
受け入れてやるのが
正解なんだよな

しかし最短でも
卒業まであと
一年半かぁ…

もつんかなぁ
…俺

げんなり…

あら
また負のオーラ
出してるわね

9時かぁ…

思ったより早くなっちまったな…

まだ友達居るんだろうなぁ…

気使わせても悪いからなそ～っと…

そ～っと

ただいま～

はぁあん！

ハァ…!!すごいいもっと…もっとおお…

な…なんだ…!?タツキの…部屋から…

ハッ!! なるほど
これが俗に言う
「AV鑑賞会」ってやつだな?

アハン

オホ〜ン

俺は友達少なかったから
やった事ねぇけど
あいつは体育会系だから
そういう事もあるだろうしな

まあ若ぇんだし
仕方な…

ガン

あっ

あっ!

ゴン

あぁっ!!

ガンッ

にしても音量
デカ過ぎる
苦情きちまうよ!!

ンンンンン

盛り下げちまう
かもだけど
ここはちゃんと
言わないとな

タツキ
ちょっと

あうう!

はぁ!

ちょ…

タ

んんっ!!

ったく聞こえねぇのかよ
もうしょうがねぇな

あ…あのタツキ
ちょっと
悪いんだけど…

ガシッ

!!

はっ

あぁっ

ふう

はぁん

うっぎゃ～!!
DVDじゃなくて
本物のHしてた～!!

あっ

ハァ

ドキドキ

友達って「彼女」の
事だったのか…

てか…

コイツが
こんな表情
するの初めて見た…

フッ

ハマ

俺には見せた事ない
大人の顔…

あぁ

ズッ!!

大人の男の顔だ…

ブロロロロ

ブロロロロ

ブロロロロ

まぁそりゃ彼女も声出ちまうわなぁ…

にしてもどうしたもんかな…止めるに止められ無いし…

オラ舌出せよ

は～ん…

てかあの子もしかして男の子!?

あっ…てれ!?

タツキ…キスして

!?

お？あぁ

グチュ

タツキばっか見てて気付かなかった…キレイな肌と顔してるけど

コレやっぱどうみても男の子だよな…

んっふぅ

ドキドキ

うわぁ俺…実際見た事が無いとは言えケツの穴とマ○コ見間違えちゃったって事…？

てかそれよりタツキはなぜ男の子とかわいいから？

キラッ

!!

ヤバイ!!

目が合っちまった!!

ヤバイ…どうしよう自分の部屋に逃げる!?

オロ

オロ

いやこの声で何も言わず部屋に居る事こそ不自然

ダッ

ダッ

オロ

とにかく…音を立てないように外へ…!!

そ～っと…

ソロリ

ソロリ

脱出!!

キィッ

カチャン

どうしよう…

ハッ

ハァ

あいつもしかして男が好きなのかな…

ハァハァ…

ハァ…

ハッ…

全然気付かなかった…

俺あいつの事何にも知らなかった…

叔父として俺はどうすればいい…？

てか兄貴には報告したほうが良いのか？

キィ…

でもすんごい微妙な話なんだよなぁ…

本来はタツキと兄貴親子間の問題ではあるだろうけど…

タツキももう立派な大人なんだし

俺が勝手に告げ口みたいな真似をするのもどこか違うような気もするし…

でも俺も家族の端くれな事は確かだし何より大切なアイツの事だしそのままってわけにはいかない…

とにかくまずは本当に「そう」なのか確かめないと…

ってどうやって確かめるんだよ…

キイ…

キイ…

うーわいつの間にか12時…

こんだけ遅いとさすがにタツキを心配させちまうな…

考えは一向にまとまらんがとりあえず帰ってから考えるか…

てかお友達…まさかお泊りなんてしないよね…

ﾋﾋｯ

翌日

ガー

ガー

↑考え疲れて爆睡する人

キラーン

スッ

コ～オ～ちゃ～ん

ｵﾀﾞｵﾀﾞﾀﾞ

んが

お～きて！

!!

昨日はめっちゃ遅かったからギリギリまで寝かせてやったぞ

感謝せよ

ドキ

ドキ

ドキ

そ…そかサンキュ

ささっ

おりよ

珍しくスッと起きるね～

ん…あぁ今日は朝から会議があるからなちょっと早めに出ねぇといけないんだ…

ダメだ…まともに見れねぇ…

そっか～大変だね

でもさ！ でもさ！
コウちゃんをギリギリまで
寝かせてやるために
俺が飯を作って
やったんだぜ！

ありがたく
食ってけよな♪

ゆっさ

ゆっさ

…いや
いいわ

…え？

すまん…
腹減ってないんだ
あと…
今日も遅くなるから
気にせず先に寝ててくれ

すまんタツキ…
まだどうしたら良いか
わかんねぇんだ…

じゃあ
行って来る…

バタン

コウちゃん…？

それからの俺は
しばらくその事から
逃げるように
仕事に没頭した

キキもまるいきおいか

早朝出勤深夜残業は
当たり前やらなくていい
雑務も進んでこなした

休日は無理やり出かけて
一日中カフェや公園で
読書や携帯ゲームに没頭
した

とにかくタツキと顔を
合わせないように努めた

このまま逃げていても
しょうがないとは思いつつ

どう切り出しゃ
良いんだっ
つうんだよ…

その手の事に疎く
相談する友達も居ない
俺はどうする事も
出来ずに居た

11時半…
帰るか…

ダメな叔父で
スマンな…
タツキ…

あ
コウちゃん
お帰り
遅かったね～！

バタン
ただいま…

へへ
俺も筋トレしてたら
こんな時間に
なっちゃった～！

こいつ…また

くっ…

ヤマ

人の気も
知らねぇで…!!

そっか…早く
シャワー浴びて
寝ろよ

！

スッ

ちょっと
待って！

!?

何で…何でコウちゃん
いつもみたいに
「裸でウロウロするな」って
言ってくれないの？
なんで？　ねえ何でなの？

てかそれだけじゃなくて
最近俺の事避けてるっしょ？
友達いないのに休みの日も
出かけるし！　おかしいよ！
それとも俺にはわかんない
とでも思ってんの？

俺がガキだから
邪魔になった…？

もう…
出てけって
思ってる…？

…え？

俺がふざけたりするのが
イヤなんだったら
直すように努力する
からさ…邪魔になる
ような事はしない
ようにするから…

ダッキ…

すまん…そんな風に
思わせちまってたなんて…
俺は本当ダメだなぁ

違う…違うんだ
お前を怒ってるとか
そういう事じゃ
無いんだよ

ただな…

…ただ？

嫌いに
ならないでよ
コウちゃん…

ぐす…

い…言わねえと…
ちゃんと…

こないだお前の
友達が来た日
あっただろ…

あの日俺本当は
仕事割と早く終わって
帰って来たんだよ…
で…その…なんだ…
ほら…アレ…

あ…ああ!!
そういうことか!!
もしかして
見ちゃった!?

う…うん…
言えなくて
ゴメン…

いやぁ俺こそゴメンね…
居候させてもらってるけど
やっぱコウちゃんの
家だからずっと我慢は
してたんだけど
アイツがおっぱじめ
ちゃって…

俺も若いから
ガマン利かなくて
…ついね

う…俺に気使って
我慢してくれてたのか

気付いてやれなくて
悪い事したなぁ…

…で
どう思った?

え?

やっぱ気持ち悪ィ
とか思った…?

え…

いや…
なんていうか

そういやぁ…

ビックリしたのは
確かなんだけど…

何よりガキの頃から
知ってるお前が
あんな顔するように
なったんだなぁって…

「あぁ…
もう立派な
大人なんだ
なぁ」って

ソコにすごい
衝撃を受けてた
なぁ…

庇うとか誤魔化すとかじゃなく
忌憚無く…まずそれを
考えたもんなぁ…

うん

…プッ

…へっ？

ぷっハハハ!!
何だよその感想
恥ずかしいなぁ
もう～！

何だよ本当に
そう思ったんだから
しょうがねぇだろ

俺だってもう二十歳
超えてるんだぜ？
セックスくらいしてるに
決まってるじゃん

ズゼーン

くっ…42歳で
童貞ですけど!!

ポン
ポン

てか気持ち悪い
とかは
思わなかった
んだ

うん　そういうのは
マジで思わなかった
んだよね～
何だろ　お前だった
からかな？

ふ～ん
俺だからねぇ…

な…
何だよ

てか お前 服きろよ

俺さ…ずっと
思ってたんだけど

コウちゃんも
ゲイなんじゃ
ねぇかなって

は？

な…
何を言って
るんだよ

だって昔から
女の人の話しないし
彼女も居たって
話も聞かないしさ

半年間一緒に
住んでみてそういう
ニオイは一切
感じられなかったし

そ…それは単純に
俺が地味で
人付き合い自体が
苦手でリアルに
居ないだけだ…

何それ
ウケるw

まあ社交的だった
としても女受け
あんま良さそう
じゃないけどねw

やかましい

代わりにコウちゃん
コッチの人にはすげぇ
モテそうなタイプ
なんだけどね～

ｱﾝ

ヤァｯｯ

…へっ？

な…何言ってんだよ
俺みたいなただ
ゴツくて地味で
陰気なオッサンが
もてるなんて

もじ
もじ
もじ
いるいる
たたふ

そんなお前アホな
話があってたまるか
イヤ無い！ 無かった！
これまで生きてきた
世界線では…

まあもちろん
タイプはさまざま
だけどね
でもさ…

俺は昔から
コウちゃんの事が
めっちゃ好き
だったんだよ

す…好きって
おまえ…
オジサンとして
だよな!?

じり
じり

いいや
もちろん
「男」として

な…何だ
と～～～!!

実は親父に
無理言って
ここに住まして
もらうように
頼んだの
俺発案だし

え!?

年中裸で
歩き回って
たのも

毎朝フトンに
飛び込んでたのも
…俺の行動全部
ぜ～んぶ

…へ？
へぇ!?

ず～っと
コウちゃんの事
誘ってたんだぜ

ちょ…!!

ンッ

わ～！やっぱコイツ
いつの間にか
めっちゃ大人に
なってた～!!

ね…ゲイじゃないとしてもさ…俺の事を良く知るために…

ちょっとコッチの世界の事勉強してみない？

わ～！近い近い近い近い！！

ビキビキ

ジリ…

バ…馬鹿言ってんじゃねぇお前は俺の甥なんだぞ

ガシィッ

そんな事出来るわけがねぇじゃねぇか

ふーん

オイにこんな事言われて勃っちゃってるのに？

…へ？

ワァ！

ぐぐ…

ふ…不覚！こういうの不慣れだからつい反応しちまった！

こ…これは最近忙しくて抜いてなかったからであって…

はいダウト昨日もキチンと抜いてました～ゴミ箱のティッシュは毎朝確認済みです～

へ…!?お前それはさすがにやり過ぎだろ！

そんだけ好きだって事です～

ね～いいじゃん
男同士のスキンシップ
だと思ってさ～

わ…
わぁ!!

イタくしないから
身任せて…

このままじゃ俺
オイに転がされる…
何とかせねば!!

チュッ

そうだ…お前
あの子に悪いだろ
ほらこないだの
彼氏

ばた

彼氏？
ああ あいつは元彼
今はただの友達だよ

なに！ 元彼と
Hするのか!?

どたっ

あ～あいつはまだ
俺の事好きみたいで
求められたから
やっちゃっただけで
ホントにもう気は
無いから

こいつ…なにげに
プレイボーイだ～!!

でもコウちゃんが
イヤならハッキリ
キッパリそういうのは
全部切るよ

俺は
コウちゃんが
居ればそれで
良いし…

ブルブル

は…

はぅ…

なにもしかして
コウちゃん
嫉妬してくれて
るの？

う～れし♪

何だよそれ
何かズリィよ…

俺と全然タイプ
違う子と
付き合ったくせに

言そんな事
って何言って
んだ俺

違うよ…
ただ何で俺なんか…
彼の方がかわいくて
若くて良い男じゃ
ねえかよ

ん？
まぁ確かに
ヤツは
イイ奴だし
イイ男だよ

じゃあ…

でも

やっぱり
コウちゃんが
ダントツ
ナンバーワン!!

……!!!

大好きだぜ
コウちゃん!

アホ…無理やり
組み伏せといて
爽やかに告白
してんじゃねぇよ

くっそぉ
体育会系に
力で敵うかよ

それよりなんだ
この空気…
このままじゃ
まじヤベぇぞ

てか兄貴には
何て言や
いいんだよ…

親父…?

親父は
関係ねぇだろ
俺はもう成人し
るんだぜ?

大人の男が
自分の判断で
コウちゃんに
こうしてるんだ
野暮な事言うな
よ

イヤお前
通ってるようで
かなり無茶苦茶
な事言っとるぞ?
自認しろ自認!

わかってるよ…

!!

ムチャクチャな事言ってるのも…

力ずくでこんな事しても何もならん事もわかってる…

でも今を逃したらもう二度とこんなチャンス無いかも知れん…

だからムチャクチャしてんじゃねぇか!!

ダッキ…

俺はもちろん覚悟出来てるしむっちゃヤリタイけどコウちゃんがイヤならやめる

コウちゃんはどうなん？ヤリたいの？ヤリたくないの？どっち？

え…え？

ってなぜかいつの間にか二択になってる…

てかまた無理難題を…

そんなもんやめた方が良いに決まってるけどコイツの覚悟を蔑ろにしても良い物か…

どうする…どうする？

わ…わっかんねぇよだって俺…

誰ともこういうんやった事無いんもん…

…えっ？

ちょっと待って…誰とも…？

え もしかして
童貞って事？

うん

マジで!?
42年間!?

うん

誰とも!?

うん…
だから…

頼むから
そんな
強調しないで…

わ～!!
エロイ～
カワイイ～!!
最高～!!

お前バカに
してんだろ！

んな事ねぇよ
俺マジで初物
大好き
なんだって!!

初も…の!?
ガキのくせに

コウちゃんに
言われても…

何!?

てか男女関係なく
H自体初体験の
42歳とかめっちゃ
アガる！

ねぇ難しい事は
置いといて
俺にその初めて
プレゼントして
くんない？

お前なぁ…

えぇ!?
そういう反応!?

さっきまでの
真面目さは
何処に…

やっぱコイツ
ただ欲求に
まっすぐなガキ
なんじゃねぇか

てかマジな話
他の誰かに
「ソレ」を奪わせ
たくねぇんだ…

お願いだから
俺にくれよ
な…コウちゃん

ぜーっ

う…かと思えば
これがいわゆる
「恋愛テクニック」
というやつ
なのか…？
まだマジ顔で
揺さぶりを
かけてくる…

いやいやそれは
さておき…

考えてみたら
誰かにこんなに
自分を求めて
もらえたの
初めてだよな…

不謹慎かもだが
悪い気分じゃ
無いかも知れん…

親類同士の
スキンシップって
形で良いか？

…え？

だからその…
親類同士が酔って
エロビデオ見て
一緒に抜いちゃった
…とか

もじ…

そういう
ニュアンスで
とらえてもらって
良いかって…事だよ

ってオイ俺！
何をご提案してるんだよ！
歩み寄ってどうする！

ぺーぽー

いいに
決まってる

!!

ん…

チュル

はっ

いきなり
チューとか

てか人の
唇って…
舌って…

こんなやらけえ
モンなの…？

ゆろ…

んは…

すげえ
気持ちイイ…

はぁ…

へ…へへへ
コウちゃんの
ファーストキス
ゲットした～！

あ…そっか
これがファースト
キスか…

え…

あ…そっか
そ
そうだな…
うん…

何かあっちゅう間
だったな…

ギク

シャク

カイ

てかイザとなると
やっぱキンチョーする…

どしたのコウちゃん
もしかして
緊張してんの？

う…

そ…そりゃ
初めてだもん
緊張するさ

バカだな
今はコウちゃん
と俺のふたりしか
居ないんだぜ？

何も緊張する
ことなんて
無いじゃん
ダイジョブだよ

キュッ

そ…そりゃ
そうだけど…

ガキの頃から
何でも見てきた
だろ？
あのタツキだよ

オシメ替えて
もらったり

バチャ

お風呂入れて
もらったり

体の隅々から
成長過程まで
全部見て来た
あのタツキだよ

だから緊張なんか
する必要これっぽっちも
ないんだよ？
リラックスリラックス

ポンッ

う…

俺の良く知るタツキ

チュッ

俺の全く知らない
タツキでもある

でもすごく
安心する

包まれてるみてえだ…
年下のコイツに…

リラックス
出来たみたい
だね…

まあココは余計に
硬くなっちゃった
みたいだけどね～♪

オウ!?

ボッ

てか40超えても
元気いっぱいだねぇ

ま…まぁこういう事
した事無いから
反応しやすいって
のはあるんかもなぁ…

何はともあれ
元気なのは
イイ事です～

よっと♪

おうっ

ビクン

ビクビク

ゼクン

腹うつほどビンビン
20代なったばかりの
俺のと比べても遜色
ない硬さだぜ

しかもデケェし
良い形してるしで
未使用とかマジで
もったいない
ことこの上なし

やかましい
解説やめ

ギンギン

グリッ

それはそうと
いやぁ改めて
お前のホントに
すっかり
大人のアレだな…

ゼク

ついこないだ
まで子供だと
思ってたのに…

ゼクン

何言ってるの
「ついこないだ」も
しっかり
見たんでしょ？

んで
ドキドキ
してくれた
んでしょ？

う…

ねぇ…
コレ…
触ってよ

へ…？

ガキの頃から
どんだけ成長したか
触って確かめてよ

ニヤニヤ

う～…
ほんとに
良いのかな…

何でも挑戦して
みないと！
ホラホラ～！

ぜいっ

え…うー…
じゃ…じゃぁ…

ドキドキ

あ～もう
よう
わからん…

じゃあ
失礼して…

ドーユッ

んっ…

うお…
かってぇ!!

ゼクン

タツキは俺の事褒めてくれたけど
やっぱ熱さと硬さが段違いだ…
若さが…
トクン
トクン
力が溢れてる…!!
ビキ
ビキ
ビキ
ゼークウッ
コウちゃん
どしたの？
…へッ!?
顔真っ赤にして
息荒くして…
あ～
もしかして
こないだ
見ちゃった
ような事
想像しちゃった
ち…
ちが…
H(エッチ)(笑)
大丈夫だよ
ちゃんと全部
やってあげる
から♪
チュッ
ガアッ
……!!!
って事で
さっそく～

コレ舐めて濡らしてくれる？

俺がお前の…コレを？

イヤだよ！

…イヤ？

あ…そのイヤって言うかやっぱり抵抗ある…かなぁって

そっかぁ…わかった…

す…スマンなぁ…

って何で俺が謝ってんだ…

え…!!

そしたら俺がコウちゃんの舐めてあげるね♪

…はい？

バ…お前何を…ヤメ…おい！

うぉおぉお!?

はむっ

んな…
ふ…ふわぁあ!!
くっ
ふう…
うおぉおお!
何じゃコリャ~!!
グジュル…
ズジュ
メチャクチャ
きもちいい~!
フンハ
フハ
ハァー
極楽…
何だ?
こんなチンポ
近づけて…
ピク…
ギクッ
人の口って
こんなに気持ち
良かったんか!!
ズロ…
ガキョ
コレは
しごけって
事かな?
ニギッ
んふっ
おタツキも
気持ち良い
のか
ビクッ

ゼクゼク

……

うぅ～ん…

俺ばっかが舐めてもらってるのも悪いなぁ…

抵抗あるけど…

んん…!!

ゼクゼク

んく…
ふぐ…
は…ん

おっタツキも喜んでくれてるな

よし…じゃあ
もっと…

ク…スゲ

はっ…コウちゃん
気持ちイイよ…

あっ

ぐっ

おっ

咥えすぎた…でも

タツキが気持ちイイって言ってくれると…

んぐ…

コウちゃん
…

んはっ

感じた事ない
何か別の
気持ちよさ
がある

ちょっと苦しいけど
エッチって気持ちイイ
もんなんだなぁ…

ペチョ

のしっ

ん？

んん!?

いっ

ふ…
ふわぁ――!!

ゆさっ

そ…ソコは
ダメ…はわ！

ペロォ

ペロォ

いいんだよ
しっかり舐めて
ゆ～っくり拡げ
とかないとね…

!!

な…拡げるって
…入れるって
こと!?

ペロッ

そうだよ
だって
「初めての男」に
なるんだもん

そ…それは別に
今日やらなく
でも…

ズキン

え〜

じゃあまた
機会設けて
くれるの？

そ…それも
ちょっと…

じゃあやっぱ
今日やらないと

ぺろ

どくん

「初めての男」に
なったとは
言えないよ…！

くそ…こりゃ
おさまりつかねぇな

イッ

んぎっ…！

しゃあねぇな…
痛くする
んじゃねぇぞ

ぎゅ…

!!

大丈夫！
そこは
任せて!!

めっちゃ
下準備
するから♪

ぐちゃぐちゃ

くはぁああ！
穴の…穴の
感覚がぁ…!!

おし
こんだけ
ほぐせば
大丈夫だな

クチュ…

ヒクヒク

じゃあ
いくぜ…

どくどく

うっ…

や…
やっぱり
怖いよ…

ダイジョブ
ダイジョブ
俺を信じろ…

ホラ
もう頭が
入ったよ…

ズムム…

うぅ…
痛い
ような…
気がする

「ような」？
ようなって
時点で
ダイジョブだよ
クスッ

わ…
笑うなよ！

ホントに大丈夫だよ
十分慣らしたとはいえ
俺のがこんなに
スムーズに入るの
珍しいんだぜ？

何だよソレ
デカイって
自慢かよ…

グッ…

ズッ…

小さくは無い
つもりだぜ？

ん～…まあ
それは確かに

クスクス
ホラ
そんな事
言ってる間に
全部入った

ギチ

ググ…

え…マジ!?

マジか…
思ったより
大丈夫な
もんだな…

フフこりゃ俺ら
相当相性バッチリ
って事だね～♪

チュ♪

バ～カ

チュッ

グイッ

リッ

んぎっ

クッ

あゴメン
痛かった？

イヤ…
痛くはねぇ
んだけど

動かれると
何かこう…

体が勝手に…

！

なに？
どうなっ
ちゃうの？

あ…うっ

グリ

クイッ

あう～～～…
なんかジンジン
するぅ～…

わかった
じゃあ俺は
動かないで
居てあげるね

ニヤニヤ

え？

うん…

そうかぁ…
やっぱ痛いの
かな？

ニヤニヤ

ん～
そうかも…

…っと～
ん～…でも
何か…
ちょっと…

うん？
何？

ん～…
何かなぁ…

何だろう
この感じ…

何？動かないほうが
良いんでしょ？

ニヤ ニヤ

うん…
でも…

あ～じゃあ
タツキは
じっとしてて

そのまま
そのまま…

ビクッ

はうっ

何だコレ…
ケツに力入れると…

ビクッ

くっ…

キュキュッ

んぎっ

どうしたの？
ケツの中自分で
動かしちゃって

グニュ

クチュ

いや…
ちが…
何かコレ
ヤバイ…よ？
んっク…

ヤバイ？
何がどう
ヤバイの？

わかんない…
わかんない
けどぉ…

う…うぅ

何？
どしたの？

ニヤニヤ

なぁ…俺やっぱ
動いちゃって
…いい？

どどっ

え？
大丈夫？

だって…
つらい…

ビクンッ

どうしていいか
わからなくて
辛いんだもん…

はぅ…

ハァハァ

わ～お♪

ホクホク

どしたの？
痛かったんじゃ
なかったの？

痛いはず
なんだけど…
それ以上に…

うぅ…

あれ～？
もしかして…
気持ちイイの？

カァ…

コクン

そしたらちゃんと
声に出して
言いなよ

「タツキの肉棒に
腹の裏こすられて
気持ちイイ」って

ん…んな事
言える…か！

ふ～ん…じゃあ
動かさ～せない
の刑ね♪

え…
そんなぁ

う…動か
させてよぉ

ガッ

チリ

ぐぐ…

ダーメ
言いなさい

うぅ…

くすん

タ…タツキの
肉…棒で腹の裏
こすられると…

うん
うん♪

メチャクチャ
気持ちイイ
んだよぉぉお…

なでなで

そんじゃ
ご褒美に
俺がいい～っぱい
動いてあげるね

はう…!!

お～よしよし
よく言えました！

は…タツキ
そんな…急に
動い…たら…
あぁ！

ミルっ
ズッ
ズ
ズ
ズ

コウちゃん

タツキ…

コウちゃん

タツキィ…

ビュッ

ビュッ

あっ…

あぁ…

ビュルル

イク…

イクう…!!

あはぁ…

は…

ハァ

はぁ…

一気に襲う罪悪感

ハァ～…
俺は一体
なんつう事を…

ず～ん

はー気持ちよかったー

フキフキ

ここはちゃんと
釘をさして
おかなければ…

いいか
タツキ

わかってると思うがこれはスキンシップの延長だからな…
だからその…アレだ…理解してくれ

！

うん…
わかってるよ
俺もそのつもり
だったから…

ん？

俺だって
ガキじゃねぇ
んだから

え？
え～？

これ以上の
我侭は言わ
ねぇよ…

ず…随分
ものわかり
いいんだな…

しょうがない
じゃん
約束だもん

コウちゃんが無理なら
俺はスッパリ諦めて
他の男探す事に
するから大丈夫だよ

え…
そうなの？

うん だって無理なら
仕方ないじゃん…
俺はコウちゃんの
「初めての男」になれた
だけで十分だよ…
それだって無茶な
お願いだったん
だからさ…

ちょ…
ちょっと

何年も想って
来たんだろ？
そのために兄貴に無理
言って俺のトコに
転がり込んで…
我慢しながらようやく
繋いだ事なんだろ？

何でそんな
アッサリ割り切る
ような事言うんだよ
お前…ホントは
俺の事なんか…

クスッ

ナニ？
結局どうして
欲しいの？
言ってごらん？

う…

ゾクッ

…し…
しばらく
考えさせて

くるっ

いいよ

あの…
しばらく
他の男は
抱かないで…

いいよ

ニヤ
ニヤ

ギュっと
して…

ギ

ユッ

いいよ

キス…
して…

いいよ♪

てか
やっぱ
カワイイなぁ

キュン

うっさい…

どうしよう
これ完全に
ハマってね…？
俺…これから
どうなるんだろ…

END